28　　子鹿への慈悲　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　文法　抑揚形

読解 主張の内容をつかむ

新傾向 関連資料との対応をつかむ

　　　　而　得レ　、①㆓　　　　　　一レ　。　母　レ　　而　。秦　西　巴　弗レ　、　而　レ　。孟　孫　、レ　。「②安　在。」秦　西　巴　　、「　母　　而　、臣　　弗レ　、　　　而　レ　。」孟　孫　、㆓　秦　西　㆒。一　年、　　㆓　　㆒。㋐左　右　、「秦　西　巴　レ　罪㆓　於　㆒。③今　　㆓　㆒　。」孟　孫　、「㋑　一　　而　不レ　。④又　　　レ　　。」　所　謂　レ　罪　而　レ　　者　也。

* 語注

孟孫＝人名。

麑＝子鹿。

秦西巴＝人名。

烹＝煮る。

子傅＝子どもの養育係。

【原文】

　孟　孫　猟　而　得　麑、使　秦　西　巴　持　帰　烹　之。麑　母　隨　之　而　啼。秦　西　巴　弗　忍、縱　而　予　之。孟　孫　帰、求　麑。「安　在。」　秦　西　巴　対　曰、「其　母　隨　而　啼、臣　誠　弗　忍、竊　縱　而　予　之。」孟　孫　怒、逐　秦　西　巴。　居　一　年、取　以　為　子　傅。左　右　曰、「秦　西　巴　有　罪　於　君。今　以　為　子　傅　何　也。」孟　孫　曰、「夫　一　麑　而　不　忍。又　何　況　於　人　乎。」此　所　謂　有　罪　而　益　信　者　也。

問一　次の「内容わしづかみ」の空欄に本文中の漢字を書き入れよ。

〔　　　〕は子鹿を捕まえ、〔　　　　〕に煮させた。だが〔　　　　〕は子鹿に付き従う〔　　〕鹿に哀れみをかけ、子鹿を与えてしまった。怒った〔　　　〕に追放されたが、一年後、その人間性を評価され、〔　　　〕として採用された。

問二　波線部㋐・㋑のここでの意味を答えよ。〈４点×２〉

　㋐〔　　　　　　　　　　〕　㋑〔　　　　　　　　　　〕

問三　チェック問題　［抑揚形］

⑴次の表を完成させよ。〈１点×４〉

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Ｂ。（乎）。 | | Ｂ。　　乎。 | | Ｂ。（） 　　乎。 | |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  | ＡでさえもＢだ。 | Ａすら且つＢ。況んやＣをや。 | ＡはＢである。 ましてＣはなおさら（Ｂ）だ。 |  |

⑵次の文を、語注を参考に現代語訳せよ。〈２点〉

庸　　　㆓　　　　　　　　　　　　　　不　。　賢　　乎。（庸夫＝凡人）（史記）

　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問四　傍線部①を「之」の内容を明らかにしながら現代語訳せよ。〈６点〉

　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問五　傍線部②を書き下し文にせよ。〈５点〉

　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（。」と。）〕

問六　傍線部③と尋ねる理由として最も適当なものを選べ。〈８点〉

ア　罰を受けた人間を呼び戻して養育係にしたことに、納得がいかなかったから。

イ　大切な子どもの養育係には、情にほだされない厳しい人間がよいと考えていたから。

ウ　一度追放した人間を再び採用したことは、これまで一度もなかったことだから。

エ　罪を償っていない人間を許してしまうと、他の臣下に示しがつかなくなるから。

　〔　　　〕

問七 傍線部④の内容を説明した次の文の空欄に二十字以内の表現を入れて完成させよ。

〈10点〉

鹿にさえもむごいことができないのだから、（　　）ということ。

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問八　次の【資料】は、「賞罰」や「真偽」について述べた文章である。【資料】を読んで後の問いに答えよ。ただし、設問の都合上、訓点を省いている箇所がある。

【資料】

レ　　　　　、　レ　　益、　　　。　　而　　　㆓　　㆒、Ⅰ罰　而　疑　者　未　必　偽、Ⅱ賞　信　　、罰　疑　　不　　也。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（『論衡』）

⑴傍線部Ⅰを、【資料】の他の箇所を参考にして書き下し文にせよ。〈３点〉

　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

⑵傍線部Ⅱの内容を本文に当てはめた場合の説明として、最も適切なものを選べ。〈４点〉

ア　秦西巴が鹿の母子を助けながらも厳しく罰せられたのは、その時の孟孫の機嫌がたまたま悪かったという、不運な出来事が原因であった。

イ　秦西巴が孟孫に罰せられて一年間も不遇であったのは、無実を訴える友人がたまたまいなかったという、運が悪い状況があったからである。

ウ　秦西巴が罰を受けながらも復職できたのは、彼を慕う我が子の思いに気づいた孟孫が命令を下したという、幸運なことがあったからである。

エ　秦西巴が鹿の子を解放して罰せられても、その後呼び戻されて重用されたのは、孟孫が彼を認めてくれる人物であったという、運の良いことであった。

〔　　　〕

【解答】

問一　孟孫／秦西巴／秦西巴／母／孟孫／子傳

問二　㋐＝側近　㋑＝そもそも〈４点×２〉

問三　⑴〈１点×４〉

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Ｂ。（乎）。 | | Ｂ。　　乎。 | | Ｂ。（） 　　乎。 | |
|  |  |  |  |  |  |
| ＡでさえもＢだ。ましてどうしてＣしようか、いやＣしない。 | Ａすら且つＢ。安くんぞＣ〔せ〕ん（や）。 | ＡでさえもＢだ。 ましてＣはなおさら（Ｂ）だ。 | Ａすら且つＢ。況んやＣをや。 | ＡはＢである。 ましてＣはなおさら（Ｂ）だ。 | ＡはＢ（而るを）況んやＣをや。 |

⑵　凡人ですらよくないことを知る。まして賢人はなおさらだ。〈２点〉

問四　秦西巴に持ち帰って猟で捕まえた子鹿を煮させた。〈６点〉

問五　安くにか在る（。」と。）〈５点〉

問六　ア〈８点〉

問七　まして人間（の子ども）はなおさら大事にする（15字（19字））〈10点〉

問八　⑴　罰せられて疑はるるは未だ必ずしも偽ならず〈３点〉

　　　⑵　エ〈４点〉

【現代語訳】

孟孫は猟をして子鹿を得て、（孟孫は）秦西巴に持ち帰ってこれ〔＝子鹿〕を煮させた。子鹿の母はこれ〔＝子鹿〕に付き従って泣き叫んだ。秦西巴はむごいことができず、（子鹿を）放ってこれ〔＝子鹿〕を（子鹿の母に）授けた。孟孫は帰って、子鹿を求めた。（孟孫は言った。）「（子鹿は）どこにあるか。」と。秦西巴が答えて言うには、「その母が付き従って泣き叫び、私はむごいことができず、こっそりと放ってこれ〔＝子鹿〕を（子鹿の母に）授けました。」と。孟孫は怒って、秦西巴を追放した。（しかし）一年後、（秦西巴を）採用して子どもの養育係とした。側近が言うには、「秦西巴はあなたに対して罪があります。（しかしそれにもかかわらず）今子どもの養育係とするのはなぜですか。」と。孟孫が言うには、「そもそも（秦西巴は）一匹の子鹿にさえもむごいことができない。またまして人間（の子ども）においてはなおさら（大事にする）だろう。」と。これはいわゆる罪があって信用を増す者である。

【書き下し文】

してを、をしてちりてをさしむ。のにひてぶ。びず、ちてをふ。りて、をむ。「くにかる。」と。へてはく、「のひてび、にびず、にちてをふ。」と。りて、をふ。ること、りててのとす。はく、「にり。てのとすはぞや。」と。はく、「れにもびず。ぞんやにいてをや。」と。れりてをすなり。

【資料】書き下し文

をれんとし、いはせられいはせられ、びにらんとし、いはぜられいははる。せられてぜらるるはだずしもならず、せられてはるるはだずしもならず、はにして、はなるなり。

【資料】現代語訳

真心を捧げようとしていながら、一方はほめられ一方は罰せられることがあるし、同じように役に立とうとしながらも、ある時は信じられある時は疑われる（ということもある）。（この場合でも、）ほめられたり信じられたりするのは必ずしも真実であるとは限らないし、罰せられたり疑われたりするのは必ずしも正しくないとは限らないのであって、（それはただ、）ほめられ信用されるのは偶つまり時に出合ったのであり、罰せられ疑われるのは不偶つまり時に出合わなかったにすぎない。

【補充問題】（＊行数は本書に対応）

問１　次の語句の読み方を、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。（現代仮名遣いでよい。）

①「対」（３行目）

②「所謂」（７行目）

問２　「予之」（２行目）の「之」の内容を本文中から抜き出して答えよ。

問３　孟孫が秦西巴を「為子傅」（５行目）としたのは何を評価したからか。最も適当なものを選べ。

ア　機転を利かして、誰にも知られずに子鹿を救ったこと。

イ　子鹿の命を救うために、自分の命を差し出そうとしたこと。

ウ　自分が下した非道な命令に、全く逆らわずに従ったこと。

エ　追放されることを恐れず、一匹の鹿に情けをかけたこと。

【補充問題解答】

問１　①こたえて　②いわゆる

問２　麑

問３　エ